

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については下記をよくご覧ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内においてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行なっておりません。
- 保証期間中、保証規定に基づいた修理品はお買い上げ店がご予約し、メーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書を添えて修理をご依頼ください。
- 保証期間中でも無償修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償で修理を承ります。
- 修理が可能な期間は、ご使用状態により異なります。また、修理が可能な場合でも規定の精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 修理の際、部品・その他すべての付属品は、一部代替品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他ににお買い上げ店と修理窓口との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 保証期間中、終了後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込み願います。修理を依頼される際はお買い上げ店にご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となりますのでご了承ください。
 - 本保証書の提示がない場合。
 - 本保証書の販売店およびお買い上げ店の記入が無い場合。
 - 本保証書の封筒を破損された場合。
 - 本保証書の保証書に書換えられた場合。
 - 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、火災、天災地変による故障や損傷。
 - 使用中に生じる外觀上の変化（フレーム・ガラス・その他付属品のキズや変色等）

取扱説明書(保証書)

目覚し時計

取扱番号：HT-004-A

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、
必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意 ※必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

絵表示の例

- ⚠・・・してはいけない「禁止」の行為を示す表示です。
- 🔥・・・必ず実行していただく「強制」を示す表示です。

警告 ※この表示を無視して誤った扱いをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

袋をかぶつて遊ばないでください

製品本体が入っていた袋はお子様遊びにように手の届かない所に保管または破棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

- 電池は分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- 電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。万一、電池から漏れた液が皮膚や衣類に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

注意 ※この表示を無視して誤った扱いをすると、傷害を負う可能性又は物的損害の発生する可能性が想定される内容です。

分解したり改造をしないでください

火災、感電、ケガの原因となります。

製品仕様

受信電波	長波JJY(標準電波)
受信周波数	40kHz/60kHz自動切替式
動作電圧	2.7V~3.4V
自動受信回数	1日に5回 (午前1時、午前2時、午前3時、午前4時、午前5時)
時間精度	受信していない時、平均月差±30秒以内 (25℃の常温にて)
使用温度範囲	0℃~+50℃
温度計表示範囲	-9.9℃~+59.9℃ (-10℃以下はLL表示、+60℃以上はHH表示)
温度計精度	20℃~30℃ ±1.5℃ 20℃以下、30℃以上 ±2℃
アラーム精度	セット時刻に対し±0分以内
アラーム音持続時間	最長2分間
スヌーズ回数	スヌーズ機能を止めるまで
スヌーズ作動間隔	約5分
アラーム音	電子音
液晶表示誤差	±1秒以内
カレンダー表示範囲	2000年1月1日~2099年12月31日
12時間/24時間表示切替	あり
使用電池	1.5V単4乾電池 2本
電池寿命	約1年(1日にアラームを30秒鳴らした場合)
付属機能	手動時刻設定機能、強制受信機能、バックライト、スヌーズ機能、温度表示、12/24表示切替、

保証書

製品型番	
お買い上げ日	※保証期間はお買い上げ日より1年間です。
お客様氏名	
お客様住所	
ご連絡先電話番号	
販売店	

お客様専用ダイヤル

042-703-8310

土日祝日を除く
平日10:00~12:00・13:00~17:00

〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1

発売元 保士ヶ谷電子販売株式会社

こんなときには

- 電池を入れ、秒表示がカウントを始めたものの、10分以上たつても正しい時刻を表示しないとき
 - 電波受信の状態が不調です。電波の障害物、気象条件、地形や時間等により受信能力が制限されることがあります。別の位置に移動するか(できれば窓の近くで表示部又は、裏面を送信所方向に向けた)、考えられる障害物(テレビ・家電機器など)からは離れた場所(約2m位)で、電池を約1分間ははずした後、再セットしてください。
 - ※送信後は後記の「電波時計について」をご確認ください。
 - 電池が消耗している場合、正常な受信ができなくなりますので、電池を新しいものに交換してください。
 - 送信所の保守作業や落雷・積雪対策などで、電波送信が一時中断されていることがあります。
- 時刻信号がキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻とちがった表示をしているとき
 - 雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合があります。場所をかえ、強制受信させてください。※電池電圧が低下している可能性もあります。
- この時計を海外で使用するとき
 - 標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用できません。
- 時刻が表示されないが、薄く表示されているとき
 - 電池の(+) (-) が間違えてセットされている場合があります。また、絡線フィルムが付いたままの場合もありますので、再度ご確認ください。
 - 電池電圧が低下している可能性が考えられます。新しい電池に替えて入れなおしてください。

設置場所について

- 温度が40℃以上になる所
- 長時間直射日光が当たる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所など
- 湿度が90%以上になる所
- 強い磁気や振動のある所
- 多量の油分や薬品等による揮発性物質やガスが発生する所
- 不安定な所
- 屋外
- ほこりや浴室などの湿気が多い所

本体取り扱い・保管について

落としたり、強くぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

電池の取り扱いについて

- 電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破損の恐れがあります。
- +、- (プラス、マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 時計を使わない時は電池を外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池の液が漏れて時計やその周辺を傷めたり人への危害を与える場合があります。
- 電池交換時は、すべて新しい電池を使ってください。電池から液が漏れていないかを念のため調べてください。
- 電池は約1年で交換してください。同一の電池を長期間ご使用になりますと、電池の液が漏れて周辺が腐食することがあります。
- オキシライド電池、二次電池(充電式電池)は、時計のような低電圧を連続的に使用する製品で使用した場合、アルカリ電池に比べて電池寿命が短くなる、適正に動作しないなどの不具合が生じる恐れがありますので使用しないでください。

- 受信環境の良い場所が見つからず、すぐに時計を使用したいとき(受信させてもアンテナマークが点灯しないとき)
 - 前記の表示中に、(手動時刻セット) ボタンを3秒以上押し続けること「手動時刻セット」モードとなりますので、手動で時刻をあわせてから、受信環境がよいと思われる場所に置いてください。自動受信機能により1日8回受信を行います。受信環境が悪くならない、標準時刻電波を受信して正しい時刻が表示されます。※受信環境は時刻、周辺の状況、天候により変化します。

静電気について

静電気の影響でまれに異常動作を引き起こすことがあります。このような場合は、電池を一旦外しそのままの状態で、10分程度放置後、再び電池をセットすると復帰します。

お手入れについて

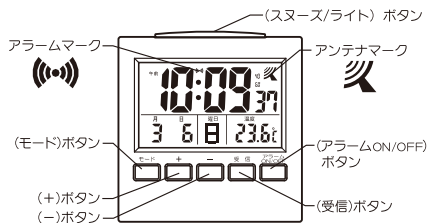
ケースが汚れた時は石ケンカ、水などを布に染み込ませ、たたく絞つたで拭き取ってください。

注意 シンナー、ベンジン、クリーナーなどは絶対に使用しないでください。

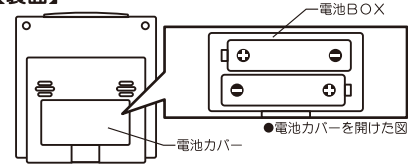
- この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
- 印刷による制限のためこの取扱説明書中の図やグラフの表示と異なる場合があります。
- この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対しても当社は責任を負いません。
- この取扱説明書を発売元の許可無くして変更・複製することを禁じます。

各部の名称

【表面】



【裏面】



ご使用方法とご注意

■時計を合わせる

1. 電池を入れます。

- 裏面の電池カバーを外してください。
- 電池BOXの表示に従い、電池の(+) (-)方向を間違えないように完全にはめ込んでください。

注 意

- (+) (-) を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。
- 付属の電池はモニター用電池のため、記載の電池寿命に満たない場合があります。(モニター用電池は時計機能や性能を確認するための電池で、時計本体価格に含まれていません。)

③ 液晶が全表示された後、時刻表示となり初期受信を開始します。

※ 受信中は電波レベル表示部分が点滅し、受信している周波数(40または60)が表示されます。



電波を受信中、アンテナマークは、受信状況に応じてその表示が変化します。

④ 受信に成功すると電波レベル表示部分が点滅から点灯に変わり、同時に受信した時刻の「時・分・秒」月・日・曜日が表示されます。

※ 電池をセットしてから受信完了までは最長で約10分かかります。



■アラームをセット、解除について

1. アラーム時刻を設定します。

- ① (アラームON/OFF) ボタンを約2秒長押しすると、「時」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「時」を設定してください。
- ② (アラームON/OFF) ボタンを1回押すと、「分」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「分」を設定してください。
- ③ (アラームON/OFF) ボタンを1回押すと、アラーム時刻セットは終了します。
- ④ アラームセット終了後、(アラームON/OFF) ボタンを押して、液晶上にアラームマーク(📡)を表示させると、設定した時刻にアラームが鳴ります。

※ (+)、(-) ボタンは押し続けると表示が早送りできます。
※ アラーム設定中、30秒以上操作しないと、その時表示されている時刻がアラーム時刻として設定され、温度表示に戻ります。

2. アラームの止め方

アラームが鳴った際、スヌーズボタンを押すと、アラームは一旦停止し、約5分後に再び鳴ります。(スヌーズ機能) スヌーズ機能が作動中の場合、液晶上にアラームマーク(📡)とスヌーズマーク(Zz) が点滅します。
※ スヌーズ作動中にスヌーズボタン以外の他のボタンを押すと、液晶上のスヌーズマーク(Zz) が消え、スヌーズ機能は停止します。
※ アラームマークが液晶上に表示されている場合、翌日同時刻にアラームが鳴ります。
※ アラームが鳴り始めてから2分間ボタンを押さないとアラームは自動的に止まります。その場合でも翌日の同時刻にアラームは再度鳴りだします。

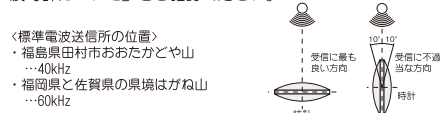
※ スヌーズボタン以外のボタンを押した場合でもアラームは止まります。この場合、スヌーズ機能は作動せず、翌日同時刻にアラームが鳴ります。アラームを完全に止める場合、(アラームON/OFF) ボタンを押して、液晶上のアラームマークを消灯させると、アラームは再び鳴ることはありません。

■電波受信について

- 受信中は時計を動かさないでください。受信中に時計を動かしていると受信能力が低下します。
- 受信中はボタンの操作をしないでください。(受信解除時を除く)
- 極端に高温や低温のところでは受信能力が低下します。
- 受信しづらい、誤った時刻を表示するなどの場合は、窓のそばに設置する、金属製品から離すなど置き場所を変えてください。詳しくは後記「使用場所について」をご確認ください。
- 気象条件、地形や時間帯により受信能力が制限されることがあります。通常、夜間は昼間と比べて電波受信状況が良くなるので、昼間受信できなかった場合は、夜間に受信を試みてください。
- 万一、正常に受信しない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度受信させるか、後記「2. 手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定してください。

■受信しやすい方向について

時計の表示部、または裏面を標準時刻電波送信所に向かい合う位置に置くこと、最も受信状況が良くなります。詳しくは後記「電波時計について」をご確認ください。



■電波を受信できなかった場合

1. 強制的に電波を受信させる

通常表示の際、(受信)ボタンを押すと、液晶上にアンテナマークが点滅表示され、受信する周波数(40/60)が表示され受信を開始します。受信を解除する場合、(受信)ボタンを1回押すと、液晶上のアンテナマークが消え、受信は解除されます。
※ 受信中は、(アラームON/OFF) ボタン、(モード) ボタンは機能しません。手動時刻セット、アラーム時刻セットをする場合、(受信) ボタンを1回押して受信を解除してください。
※ このモードで受信動作をさせたいときには、内部で受信動作前の時刻がクォーツ精度で動作していますので、最長10分受信できない場合でも自動的に以前の時刻を表示して受信動作を完了します。
※ 使用場所の受信環境をチェックしたいときに、このモードをお使いになると便利です。
※ アラームがONのときに強制受信した場合は、アラームが優先されアラーム時刻になると、受信動作が解除されます。

2. 手動で任意の時刻を設定する

① 通常表示の際、(モード) ボタンを約2秒長押しすると、12Hr または24Hr が点滅します。(12時間/24時間表示の設定)。(+)、(-) ボタンを押し、いずれかを選び、モードボタンを1回押してください。
② 「時」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「時」を設定し、(モード) ボタンを1回押してください。
③ 「分」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「分」を設定し、(モード) ボタンを1回押してください。
④ 「年」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「年」を設定し、(モード) ボタンを1回押してください。
⑤ 「月」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「月」を設定し、(モード) ボタンを1回押してください。
⑥ 「日」が点滅します。(+)、(-) ボタンで「日」を設定し、(モード) ボタンを1回押してください。モードボタンを1回押すと手動時刻設定が終了します。
※ 設定中、ボタン操作を30秒しない場合、その時の表示内容が設定されます。
※ 手動時刻設定後はアンテナマークは表示されません。
※ 手動時刻設定後も、自動受信時刻になると受信開始します。

■ブルーLEDライトを点灯させる

(スヌーズ・ライト) ボタンを押すと、パネルライトが点灯します。(この時計は残照機能が付いているため、ボタンから手を離しても約5秒点灯します。)

■電池交換

必ず新しい電池をお使いください。

電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおたかや山(60kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山(40kHz)」の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1,000~1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で動作します。

<送信所の位置>



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。
独立行政法人情報通信研究機構 <http://www.nict.go.jp/>
日本標準時プロジェクト <http://jjy.nict.go.jp/>
※ 送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。

使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるもの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

